

601SJ 標準セット

User Guide 取扱説明書

はじめに

このたびは、「SoftBank 601SJ 標準セット」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本装置（SoftBank 601SJ 標準セット）をご利用の前に、「取扱説明書（本書）」をご覧ください。
- 取扱説明書は、ご使用中にわからないことが生じたときに参照できるように保証書と一緒に大切に保管してください。
- IP無線機は、販売代理店によりIP無線機設定ツールまたはIP無線機位置情報サービス（設定サイト）から設定することができます。また、IPマイクは、IPマイク設定ツールからのみ設定可能となります。設定された内容により、本書内の動作と異なる場合がありますのでご注意ください。設定内容の詳細につきましては、販売代理店にお問い合わせください。

ご注意

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告なしに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

本装置の機器構成

SoftBank 601SJ 標準セット	
端末本体（USB スティック）	
付属品キット	IP 無線機
	USB ケーブル
	USB 型モデムケース
	ACC 延長ケーブル
	電源ケーブル
	IP 無線機取付ステー（車載ホルダ）

※ 端末本体（USBスティック）にUSIMカード（別売）を取り付けて通信を行います。USIMカードについては、お買い上げの販売代理店にご相談ください。

本書の見かた

本書での表記や画面表示について

本書において、あらかじめ次の内容についてご了承ください。

- 「SoftBank 601SJ 標準セット」の機器構成を「本装置」と表記しています。
- 本書内に記載しているイラストや画面は、実際の形状や画面表示などと異なる場合があります。
- IPマイクなどのボタンを1秒以上押す操作を、「長押し」と表記しています。

操作手順の表記について

本書ではIPマイクの設定の操作手順などにおいて、次の操作を簡略化して記載しています。

- （スクロールボタン）による項目の選択操作
- （決定ボタン）などを押す操作

例) 待受画面で  (Menuボタン) を押し、表示されるメニューから  (スクロールボタン) を動かして「5. 機器情報」を選択し、 (決定ボタン) で選択を確定する操作を次のように記載します。

1 待受画面で  →  で【5.機器情報】を選択→



目次

はじめに

本装置の機器構成	i
本書の見かた	i
目次	ii

1 ご利用にあたって 1

機器の説明	2
設置と接続	3
各部の名称とはたらき	8
USIM カード	11

2 基礎知識／基本操作 13

主な機能	14
電源を入れる／切る	15
呼出モード	16
IP 無線機の通知音	18
発信／着信の動作	19

3 スピーカマイクの利用 21

スピーカマイクの各部の名称とはたらき	22
スピーカマイクの基本操作	22
呼び出して通話する	23
着信に応答して通話する	23
通話音声録音／再生する	24

4 IP マイクの利用 25

IP マイクの各部の名称とはたらき	26
IP マイクの基本操作	27
呼び出して通話する	28
着信に応答して通話する	32
非常送信機能 (RED ALERT) を利用する	34
受信メッセージを表示する	35
IP マイクのメニューを操作する	36

5 困ったときは 41

トラブルシューティング	42
仕様	43
保証とアフターサービス	45
お問い合わせ先	46
索引	47

1 ご利用にあたって

機器の説明.....	2
設置と接続.....	3
各部の名称とはたらき	8
USIMカード.....	11

機器の説明

■ IP無線機

通話を行ううえでの音声-IP変換、スピーカ音の調整、GPS情報の取得および送信、相手局との発着信などを行います。詳しくは、「IP無線機」(→P.8) および「2 基礎知識／基本操作」(→P.13) をご参照ください。

■ 端末本体 (USBスティック)

IP無線機に接続して使用します。内部にUSIMカードを挿入して使用します。ソフトバンク携帯通信網を経由して、本システムを管理するクラウドサーバーとの接続を行います。詳しくは、「端末本体 (USBスティック)」(→P.10) および「USIMカード」(→P.11) をご参照ください。

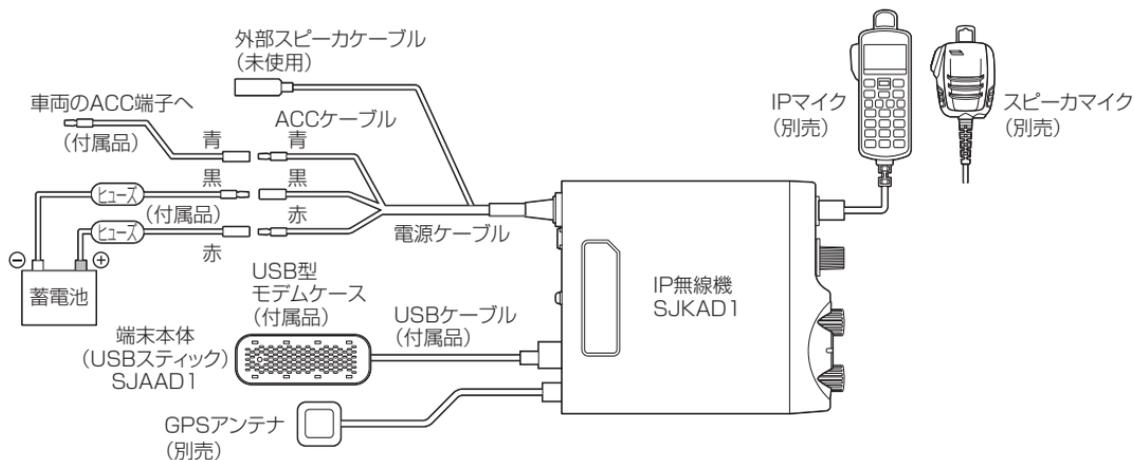
■ スピーカマイク／IPマイク (別売)

IP無線機に接続して使用します。相手局との通話や録音再生などのほか、IPマイクでは発信先の指定や状態設定、メッセージ受信などを行います。詳しくは、「3 スピーカマイクの利用」(→P.21)、「4 IPマイクの利用」(→P.25) をご参照ください。

設置と接続

本装置の取り付け・装備作業には、電源接続などで危険を伴った専門の技術が必要となります。また、取り付け・装備に伴う各種手続きなどが発生しますので、本装置を車両へ取り付け・装備する際は、必ずお買い求めの販売代理店へご相談・ご依頼ください。

接続イメージ



設置・接続工程の技術概要（工事担当者用）

■ IP無線機の取り付け

- 1 付属品のIP無線機取付ステー（車載ホルダ）を車両内の平らな面に取り付ける
- 2 IP無線機取付ステー（車載ホルダ）周辺の穴4つを使って確実に取り付ける
- 3 IP無線機をIP無線機取付ステー（車載ホルダ）の前面から挿入し、側面のレバー（1箇所）がしっかりロックされるまで押し込む

■ マイク掛けフックの取り付け

- マイクに付属する掛けフックを止めビス2個を使い、マイクの使いやすい場所に取り付けます。

！ ご注意

- 運転に支障のある場所は避けてください。
- 掛けフックはお使いのマイク専用です。マイク以外の機器に使用しないでください。

■ スピーカマイク／IPマイクの接続

1 マイクをIP無線機のマイクコネクタ（→P.8）に接続する

マイク側のコネクタの矢印を上にして、「カチッ」と音がするまで確実に差し込んでください。

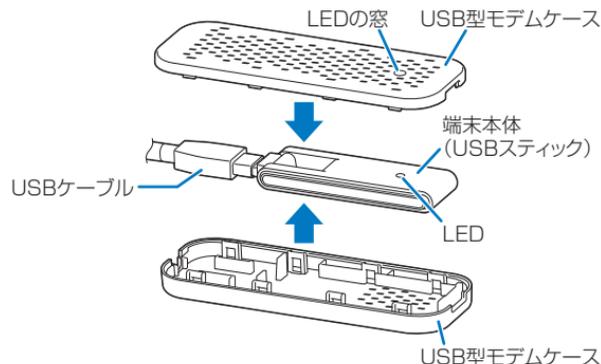
2 マイクコネクタから取り外すときは、マイク側のコネクタをまっすぐ引く

！ ご注意

- マイクをIP無線機に取り付けるときは、必ずIP無線機の電源を切った状態で接続してください。
- コネクタ接続部を故意に回転させるとコネクタ部が壊れる恐れがありますので、回転させないでください。

■ 端末本体（USBスティック）の取り付け

1 専用のUSBケーブルに端末本体(USBスティック)を装着し、USB型モデムケースを取り付ける



USB型モデムケースのLEDの窓と端末本体（USBスティック）のLEDを合わせるように取り付けてください。

2 USBケーブルをIP無線機背面のUSB接続コネクタ（ロック付き）に接続する

3 端末本体(USBスティック)を、USB型モデムケースに装着されている両面テープでダッシュボードの下やセンターコンソール側面やフロントピラー部などへ取り付ける

電波を適切に受信できる場所に取り付けてください。

！ ご注意

- ダッシュボードの上など直射日光が当たって高温になる場所には取り付けないでください。機器の故障につながります。

■ GPSアンテナの取り付け

1 GPSアンテナの接続端子をIP無線機背面のGPSアンテナコネクタに接続する

衛星からの位置情報を受信できるようになります。

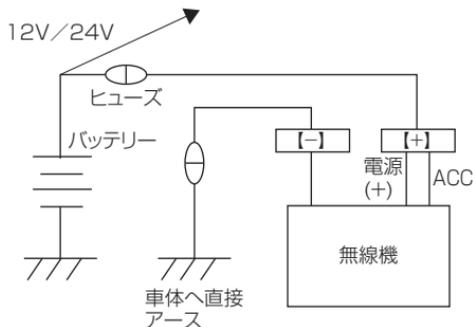
！ ご注意

- GPS アンテナは基本的に車外に設置してください。車内に設置した場合、電波を適切に受けられない場合があります。電波を受信できない場合、本システムのサービスの一部機能が使えなくなります。
- GPS アンテナの取り付けの際、ケーブルを伝って IP 無線機に水が入らないよう配線にご注意ください。
- ビルの谷間や山間部など GPS 衛星を捕捉しにくい場所では、本装置起動時に GPS 測位に数分かかることがあります。
- 車を洗車するときは、車外の GPS アンテナを取り外してください。

■ 電源の接続

- 車両の電源工事は火災などの大事故につながる危険性がありますので、お買い求めの販売代理店にお任せください。

電源はバッテリーに直接接続してください。IP無線機のACCケーブルは、車両のACC端子に接続してください。IP無線機の電源は、ACC端子に電圧が加わり、操作部の電源スイッチがつながった状態になった時点で電源が入ります。



本装置は、12V/24V車両専用で設計されています※。

- ※ 24V車両でお使いの場合、バッテリーの中間電位点から12Vを取り出すと、バッテリーの片減りを起こして思わぬ事故の原因となりますのでおやめください。

！ ご注意

- IP無線機の電源ケーブルは、赤が(+)極、黒が(-)極です。間違えて逆に配線すると、IP無線機の保護回路が動作し、電源ケーブルの保護ヒューズが溶断します。
- IP無線機の電源ケーブル、ACCケーブル、USBケーブル、GPSケーブルを車両のコンソール内に収容する際は、車両火災防止のため、シガレットライター後部などの発熱部から十分な距離を確保して、接触しないようご注意ください。
- 本装置には、車両内配線用に3mの電源ケーブルが付属されていますが、工事に際して、余ったケーブルを束ねて収納せず、付設の状況に合わせて必要最低限の長さに切断してください。
- 電源ケーブルを車両のバッテリーに配線する際は、付属の電源ケーブルの先端を半田上げせず、専用の圧着端子(別途購入)を圧着加工して取り付けてください。
- IP無線機から出ている電源ケーブルの切断は、改造となるため絶対におやめください。

バッテリーに電源を接続する場合は、以下の手順を守ってください。

- 1 車両バッテリーの(+)極および(-)極の配線を外す
- 2 (+)極を車両側電源ケーブルの(+)側に配線する
- 3 誤接続がないことを確認して(-)極を車両側電源ケーブルの(-)側に配線する

4 車両側電源ケーブルの (+) 極をバッテリーの (+) 極側に接続する

5 車両側電源ケーブルの (-) 極をバッテリーの (-) 極に接続する

! ご注意

- 手順を間違えると、工事中に誤って工具が車両ボディと接触した際にバッテリーをショートさせる危険性があります。必ず配線手順を守ってください。
- IP無線機を車両へ実装する際は、IP無線機の電源ケーブルを車両バッテリーへ直接接続してください。車内ヒューズボックスあるいはシガレットライター部から配線しないでください。装置故障につながる場合があります。
- IP無線機の電源ケーブルと車両バッテリーを接続する際は、接続不良や断線などがあった場合、IP無線機に過度な電圧がかかり故障につながる場合がありますので、ご注意ください。
- バス、ダンプカー、ミキサー車などの特殊車両に取り付ける際は、特殊車両の利用方法によってはIP無線機に過度な電圧がかかり故障につながる場合がありますので、販売代理店にご相談ください。

■ ACCケーブルの接続

IP無線機側のACCケーブルと車両側のACC端子を接続すると、車両のACCオン/オフに連動して本装置の電源をON/OFFさせることができます。ただし、IP無線機の電源スイッチはONであることが必要です。

車両側のACC端子を利用できない場合は、IP無線機側のACCケーブルと電源ケーブル (+) を共に車両側電源へ接続してください。

この場合、車両のACCオン/オフに連動せず、エンジンを停止させても本装置の電源はOFFになりません*。

本装置の電源ON/OFFは、IP無線機の電源スイッチで行います。

※ ACCケーブルを電源に接続した場合、本装置の電源を入れたままでのバッテリー上がりにご注意ください。

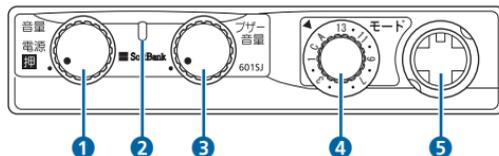
■ 車両バッテリーについて

車両のバッテリーが古くなると、電源電圧が低下してエンジン始動時やエアコン動作時などに本装置の動作が不安定になることがあります。特に発信状態では大きな電流が必要になるため、着信時と比べてバッテリー電圧は大きく低下します。次の点をご確認ください。

- バッテリーの電源電圧は規定（12V）以上ありますか？
- 電源ケーブルの端子はきちんと接続されていますか？
（端子の腐食などにより接触抵抗が増加し、電圧低下の原因となることがあります。）
- 電源ケーブルに挿入されているヒューズに異常はありませんか？
（端子の腐食などにより接触抵抗が増加し、電圧低下の原因となることがあります。）
- 指定の電源ケーブルを使用していますか？
（電源ケーブルが細いと、電源ケーブルでロスが生じ電源電圧が低下することがあります。）
- IP無線機の電源はバッテリーに直接配線していますか？
（車内のヒューズボックスから配線すると、車両側のケーブルで生じるロスにより電圧が低下することがあります。）

各部の名称とはたらき

IP無線機



	名称	機能
①	電源スイッチ／音量スイッチ	押して電源を入れる／切る 回して通話時の着音声の音量調節
②	状態 LED	5色のLEDで状態表示（→ P.9）
③	ブザー音量スイッチ	着信音などのブザー音の音量調節
④	呼出モードスイッチ	呼出モードの切替 （15種まで設定可） A：一斉 C：指令局 1～13：グループ番号 13：録音再生（→ P.24、P.37）
⑤	マイクコネクタ	IPマイク／スピーカマイクの接続

■ 状態表示 (LED)

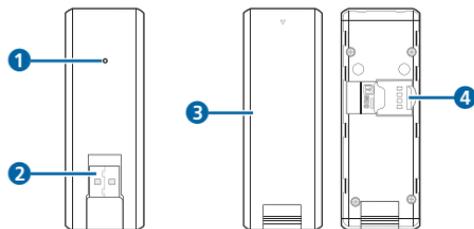
LED	状態	GPS 利用 有無設定	GPS LED 色設定
青点灯	サービスエリア圏内+ GPS 測位	ON	—
黄点灯	サービスエリア圏内+ GPS 未測位 ※1	ON	—
赤点灯	サービスエリア圏外	ON	—
黄点灯	サービスエリア圏内 ※2	OFF	黄
赤点灯	サービスエリア圏外	OFF	黄
青点灯	サービスエリア圏内 ※2	OFF	青
赤点灯	サービスエリア圏外	OFF	青
緑点灯	通話開始 (中)		
緑点滅	呼出開始		
	一斉、強制一斉呼出		
	グループ、強制グループ 呼出		
	個別呼出		
	指令局呼出		
	地域呼出		
	近隣呼出		
白点滅 ※3	不在着信		

※1：GPS未測位の状態とは、GPS受信不能、IP無線機GPS受信機能の故障、アンテナ故障(ケーブル抜けを含む)により発生する可能性があります。

※2：「GPS利用有無」が「OFF」に設定されているときは、LEDの色(黄/青)を選択できます。

※3：点滅時間は、「10分間」または「無制限」となります。

端末本体 (USBスティック)



	名称	機能
①	LED	通信状態を確認
②	USB コネクタ	USB ケーブルを接続
③	リアカバー	—
④	USIM スロット	USIM カードを取り付け (→ P.12)

■ 状態表示 (LED)

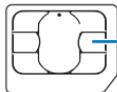
LED	状態
消灯	電源 OFF
赤点灯→緑点灯→青点灯	起動時
緑点滅	接続準備 4G (AXGP / FDD-LTE) エリア
緑点灯	接続中 4G (AXGP / FDD-LTE) エリア
青点滅	接続準備 3G エリア
青点灯	接続中 3G エリア
赤点灯	未接続/圏外
赤点滅	USIM カード未挿入

USIMカード

USIMカードは、本装置を無線機として使用するためのお客様情報が登録されているICカードです。

USIMカードのお取り扱い

- 他社製品のICカードリーダーなどにUSIMカードを挿入し故障した場合は、お客様ご自身の責任となり当社は責任を負いかねますのであらかじめご注意ください。
- IC部分はいつともきれいな状態でご使用ください。



IC部分

- お手入れは乾いた柔らかい布などで拭いてください。
- USIMカードにラベルなどを貼り付けないでください。故障の原因となります。
- USIMカードのお取り扱いについては、USIMカードに付属している説明書を参照してください。
- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損によるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約などの際は、USIMカードをご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされます。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。

- お客様自身でUSIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管いただきますようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社として責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- USIMカードや端末本体（USBスティック）（USIMカード挿入済み）を盗難・紛失された場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。緊急利用停止の手続きはお問い合わせ先までご連絡ください。
- USIMカードの取り付け／取り外しは、必ず電源を切った状態で行ってください。
- 本装置は専用USIMカードが必要です。本装置の専用USIMカードは、他の携帯電話機では使用できません。

USIMカードを取り付ける

必ず端末本体（USBスティック）からUSBケーブルなどを取り外してから行ってください。

- 1 端末本体（USBスティック）のリアカバーを取り外す



- 2 USIMカードのIC部分の面を下にして、USIMスロットに矢印の方向にUSIMカードを差し込む

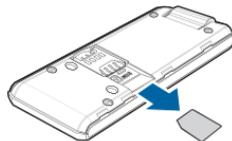


- 3 端末本体（USBスティック）のリアカバーを取り付ける

USIMカードを取り外す

必ず端末本体（USBスティック）からUSBケーブルなどを取り外してから行ってください。

- 1 端末本体（USBスティック）のリアカバーを取り外す
- 2 USIMスロットから、矢印の方向にUSIMカードを引き抜いて取り出す



- 3 端末本体（USBスティック）のリアカバーを取り付ける

2 基礎知識／基本操作

主な機能.....	14
電源を入れる／切る.....	15
呼出モード.....	16
IP無線機の通知音.....	18
発信／着信の動作.....	19

主な機能

本装置は、ソフトバンク携帯通信網を利用して、あらかじめグループとして設定されている他のIP無線機と日本国内で次のような通話や通信、機能が利用できるIP無線機です。通信環境の設定については、販売代理店で行われます。

- 一斉通話やグループ通話、個別通話など様々な方法の通話ができます。
- 番号帳や通話履歴から個別番号を選択して発信できます。
- 本装置で設定した状態内容、GPS情報を使用して、本装置の動態情報を把握することができます（オプションサービス）。

■ 指令局と移動局について

同一グループ内のIP無線機の管理用として、任意のIP無線機を「指令局」に設定することができます。指令局以外のIP無線機を「移動局」と呼びます。

- 移動局からのグループ、強制グループ、地域、近隣呼出には、指令局も含まれます。指令局が複数ある場合は、一番若い番号の指令局が呼出対象となります。
- 移動局からのグループ、指令局、地域、近隣呼出、音声モニタでは、呼出対象となる指令局が話し中の場合、次に若い番号が自動的に呼出対象となります（指令局の転送機能「すべり」）。
- グループ、指令局、地域、近隣呼出、音声モニタでは、お申し込み時に「すべりOFF」を選択されていると、指令局が通話中の場合、指令局への接続はNGとなります。また、一斉呼出で、指令局が複数ある場合は、一番若い番号の指令局が呼出対象となります。

- 指令局では次のことが行えません。
 - 他の指令局への呼出
 - メッセージの受信
 - GPS情報の取得
 - RED ALERTの使用

電源を入れる／切る

電源を入れる

本装置は、IP無線機の電源を入れることでIPマイクなど装置全体が起動します。

1 IP無線機前面の電源スイッチを押す

「ピッ」と鳴って電源が入ります。

「ピッ」と鳴るまでに数秒かかります。その後IP無線機の状態LEDで状態を確認できます（→P.9）。

- IP無線機側のACCケーブルと車両側のACC端子を接続している場合は、車両のキーを「ACC」の位置まで回す必要があります。
- IPマイクを接続している場合は、約40秒後に画面に待受画面が表示されます。
- 電源スイッチを右（時計回り）左（反時計回り）に回して音量を調整できます。

電源を切る

1 IP無線機前面の電源スイッチを押す

- IP無線機側のACCケーブルと車両側のACC端子を接続している場合は、車両のキーを「停止（Lock／OFF）」の位置まで回すことで本装置の電源が切れます。

！ ご注意

- IP無線機のLED表示が青または黄色点灯（サービスエリア圏内）していることを確認してください。LED表示が赤で点灯（サービスエリア圏外）している間は通信できません。

呼出モード

呼び出して通話するときに、相手の範囲や呼び出しかなど通話内容に応じた呼出モードに切り替えて通話できます。スピーカマイクでは、設定された呼出モードスイッチ（A：一斉呼出、C：指令局呼出、1～13：グループ呼出など）に合わせます。

IPマイクでは、**Mode**を押して設定された呼出モード（一斉→強制一斉→G→強制G→個別→指令局→地域→近隣→一斉）を順に切り替えます。また、IP無線機の設定内容によっては、スピーカマイクと同様にIP無線機の呼出モードスイッチを利用することができます。

呼出モード (通話モード)	IPマイク表示 (呼出モード スイッチ) ※1	説明
一斉呼出	一斉 (A)	相手の番号を指定せず、発信可能なIP無線機に対して一斉発信します。 移動局が呼出モードスイッチ A で発信すると通常の一斉になります。
強制一斉呼出 ※2	強制一斉 (A)	相手の番号を指定せず、発信可能なIP無線機に対して一斉発信します。 相手が通話中でも、強制的に割り込んで呼び出します。 指令局が呼出モードスイッチ A で発信すると強制一斉になります。 先に強制一斉で通話中の場合には発信できません。
グループ呼出	G (1～13)	グループ番号を指定し、複数の相手に発信します。 発信相手には指令局も含まれます。

呼出モード (通話モード)	IP マイク表示 (呼出モード スイッチ) ※1	説明
強制 グループ 呼出 ※2	強制 G (1 ~ 13)	グループ番号を指定し、複数の相手に発信します。相手が通話中でも、強制的に割り込んで呼び出します。発信相手には指令局も含まれます。 先に強制一斉で通話中の場合には発信できません。
個別呼出	個別 (-)	相手の番号を指定し、発信します。
指令局呼出	指令局 (C)	指令局の番号を指定し、発信します。 IP無線機の呼出モードスイッチ使用時には、指令局番号の指定はできません。
地域呼出 ※2、※3	地域 (1 ~ 13)	地域番号を指定し、その地域にあるIP無線機に対して発信します。 発信相手には指令局も含まれます。
近隣呼出 ※2、※3	近隣 (1 ~ 13)	発信元の周辺にあるIP無線機に対して発信します。 発信相手には指令局も含まれます。

※1: IP無線機での呼出モードスイッチの位置となります。
(-)は、呼出モードスイッチで対応していないことを表しています。

※2: 初期設定では表示されません。

※3: オプションサービス加入時に利用可能となります。

IP無線機の通知音

発信、着信、通話の際には、次のような通知音が鳴ります。

通知音	状態	説明
ピッ	電源を入れる	電源が正常にオン
	プレストークスイッチ押下	通話時のプレストークスイッチ音
ププッ …	指令局呼出發信	指令局呼出の開始
ピロッ ピロッ …	個別呼出發信	個別呼出の開始
プーッ プーッ …	一斉、強制一斉呼出發信	一斉、強制一斉呼出の開始
ピロピロッ ピロピロッ …	グループ、強制グループ呼出發信	グループ、強制グループ呼出の開始
ピッロッ ピッロッ …	地域呼出發信 ※1	地域呼出の開始
ピロピッ ピロピッ …	近隣呼出發信 ※1	近隣呼出の開始
プププ …	グループ、強制グループ、個別、指令局、地域、近隣呼出(RBT有)着信	グループ、強制グループ、個別、指令局、地域、近隣呼出(RBT有)の着信
プー …	一斉、強制一斉呼出(RBT有)着信	一斉、強制一斉呼出(RBT有)の着信

通知音	状態	説明
ピピ	呼出着信	呼出の着信
	接続完了、通話開始	プレストークスイッチが押され、接続を完了
ププ	連続通話タイムアウト機能予鈴	連続通話タイムアウトタイムが動作開始まで残り 10 秒
プー	連続通話タイムアウト機能動作時	連続通話タイムアウトタイムが動作して通話がオフに
ピー	終話 ※2	終話
ププー	発信失敗	相手先話中などによる発信失敗
ピーッ ピーッ …	不在着信通知	着信を受けて通話を開始しなかったときの通知(通知時間 10 分/無制限)
ピーポー ピーポー ピーポー	メッセージ着信 ※3	メッセージ受信

※1：オプションサービス加入時に利用可能となります。

※2：終話音の鳴動はあり/なしを設定できます。

※3：IPマイク使用時に有効となります。

発信／着信の動作

- 本装置は、相手呼出中は「ププッ…」などの呼出発信通知音が鳴り、相手と接続が完了した際には、「ピピ」という音で通話開始のタイミングを通知します。この音を待ってから通話を開始することで、通話の頭が途切れることを防止できます。
- RBT（リングバックトーン）呼出の場合は、着信時においても「ププ…」などの呼出着信音が鳴ります。着信しているいずれかのIP無線機がプレストークスイッチを押すと通話できるようになります。この際も通話開始タイミングを知らせる通知音が「ピピ」と鳴ります。RBTなしの呼出の場合は、いずれかのIP無線機と通信が確立された際、自動的に通話ができるようになります。
- 連続通話時間は最大5分です。5分以上経過すると自動的に切断されます。切断される10秒前に通知音でお知らせします。
- 無通話状態が続いた場合、設定された時間が経過すると、自動的に切断されます。初期設定は10秒です。

！ ご注意

- 発信時は、マイクに口を近づけ、約5cmのところでお話しください。あまり近づけて話をする、発信音声が歪むことがあります。
- プレストークスイッチを押してから間を空けずに通話を開始すると、通話の頭が途切れることがあります。このような場合は、プレストークスイッチを押してから一呼吸おいて通話を開始してください。
- 音声着信が可能な状態で、操作中に着信があると、操作は中断され着信状態となります。
- カールコードを持ってマイクを振り回したりカールコードを引っ張ると、断線の原因となりますのでご注意ください。

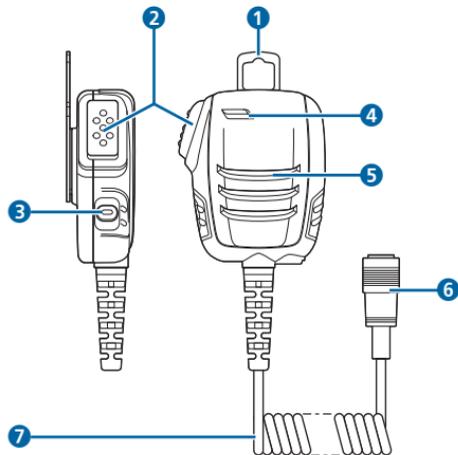
2

基礎知識／基本操作

3 スピーカマイクの利用

スピーカマイクの各部の名称とはたらき	22
スピーカマイクの基本操作.....	22
呼び出して通話する	23
着信に応答して通話する.....	23
通話音声を録音／再生する.....	24

スピーカマイクの各部の名称とはたらき



	名称	機能
5	スピーカ	着信音などのブザー音、受話音声を出力
6	コネクタ接続部	IP無線機のマイクコネクタに接続
7	コールコード	IP無線機との接続ケーブル コード有効伸長：約 1.5m

スピーカマイクの基本操作

スピーカマイクは、IP無線機に接続し、IP無線機の電源を入ると利用できるようになります。

スピーカマイクでの通話に関する機能設定や呼出モードの設定などは、あらかじめ販売代理店などで設定されます。設定の内容により本書で記載している操作に対応しない場合があります。

スピーカマイクを接続して行う基本的な無線通信では、「個別呼出」以外の一斉呼出やグループ呼出などで複数の相手先を呼び出します。

	名称	機能
1	マイクの掛け金具	設置したマイク掛けフックに掛ける
2	プレストークスイッチ	押下時に呼出、音声発信、個別切替が可能
3	F ボタン	押下時に終話、発信キャンセル、個別切替が可能
4	マイク	発話音声の入力

呼び出して通話する

- 1 IP無線機の呼出モードスイッチを回して呼出モード（→P.16）を選択する
- 2 スピーカマイクのプレストークスイッチを押す
接続完了後、プレストークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。
- 3 終話するときには、Fボタンを押す

お知らせ

- 1つのIP無線機のみ登録されているグループ番号を選択することで、指令局からのグループ呼出では個別に通話を行うことができます。ただし、グループ通話としての動作となり、不在着信は表示されません。

着信に应答して通話する

着信があり、回線が接続されると、通話ができるようになります。

- 1 プレストークスイッチを押しながら話す
プレストークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。
- 2 発信者が終話操作をすると通話終了
 - IP無線機の設定内容によっては、着信側でFボタンを押して通話を終了することができます。

着信を個別通話に切り替える

IP無線機の設定内容によっては、「個別呼出」以外の着信に应答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます。

- 1 グループ通話中などにFボタンまたはプレストークスイッチを押す
発信者との個別通話に切り替わります。

不在着信を確認する

IP無線機の設定内容によっては、指令局／移動局からの個別呼出に対して通話を開始しないと、不在着信が通知されません。

最後の不在着信から10分間は「ピーッピーッ…」という通知音が鳴り、IP無線機の状態LEDが白点減します。通知音は、プレストークスイッチを押すと停止できます。

通話音声を録音／再生する

スピーカマイクでの通話時に録音された相手の音声を再生できます。通話中は相手の声が常に録音されています。

- 音声は4秒間ごとに48回、最大192秒間録音されます。192秒を超える場合は古いものから消去されます。
- 録音された音声は、本装置の電源を切ると消去されます。

録音を再生する

1 IP無線機の呼出モードスイッチを「13」の位置に合わせる

2 Fボタンを押す

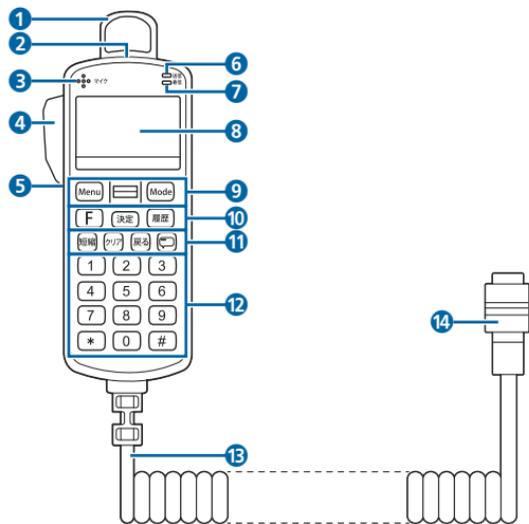
- 短押し：録音された最新の音声を4秒間再生します。再生中に再度Fボタンを押すと、さらに4秒前の音声を再生します（最大で48回：192秒）。
- 長押し：録音されている一番古い音声から再生します。

3 再生を停止するにはプレストークスイッチを押す

4 IPマイクの利用

IPマイクの各部の名称とはたらき	26
IPマイクの基本操作	27
呼び出して通話する	28
着信に応答して通話する	32
非常送信機能 (RED ALERT) を利用する	34
受信メッセージを表示する	35
IPマイクのメニューを操作する	36

IPマイクの各部の名称とはたらき



名称	機能
① マイクの掛け金具	設置したマイク掛けフックに掛ける
② 非常スイッチ	非常送信 (RED ALERT) 時に使用
③ マイク	発話音声の入力
④ プレストークスイッチ	押下時に呼出、音声発信、個別切替が可能
⑤ スピーカ(背面)	着信音などのブザー音、受話音声を出力

名称	機能
⑥ 送信 LED	プレストークスイッチを押して発信状態になると赤色に点灯
⑦ 着信 LED	着信時に緑色に点灯
⑧ 液晶表示部	情報表示
⑨ Menu ボタン Menu / スク ロールボタン Mode ボタン Mode ボタン	Menu ボタン : メニューを表示 スクロールボタン : 上下に動かして画面表示のカーソルを移動 Mode ボタン : 呼出モードを選択、終話、発信キャンセル
⑩ F ボタン 決定ボタン 履歴ボタン	F ボタン : 終話、発信キャンセル、個別切替 決定ボタン : 画面表示項目を選択/決定 履歴ボタン : 発信/着信履歴を表示
⑪ 短縮ボタン クリアボタン 戻るボタン メッセージボタン	短縮ボタン : 発信先をショートカット登録(3秒以上長押し)、ショートカットを呼び出し クリアボタン : ショートカットを削除(3秒以上長押し) 戻るボタン : 前の画面や待受画面へ戻る メッセージボタン : メッセージを表示
⑫ テンキー	数字入力
⑬ カールコード	IP 無線機との接続ケーブル コード有効伸長 : 約 1.5m
⑭ コネクタ接続部	IP 無線機のマイクコネクタに接続

IPマイクの基本操作

IPマイクは、IP無線機に接続し、IP無線機の電源を入れると利用できるようになります。約40秒後に表示される待受画面から始めます。

IPマイクに関する機能設定や呼出モードの設定などは、あらかじめ販売代理店などで設定されます。設定内容により本書で記載している項目の表示や操作に対応しない場合があります。

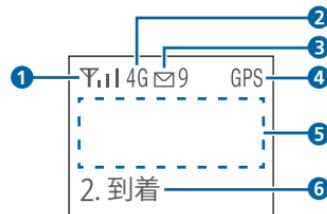
お知らせ

- 電源を入れたときに待受画面が表示されず、次のように表示された場合はそれぞれの対処を行ってください。

画面表示	対処
USIM が認識できません USIM を確認してください	端末本体（USB スティック）にUSIM カードが挿入されているか、もしくは正しいUSIM カードが挿入されているか確認してください。
無線機の設定がされていない可能性があります	IP 無線機の設定が初期状態（工場出荷状態）の可能性があります。IP 無線機の各種設定を販売代理店などで行ってください。
電波の弱い所にいます 車を移動して下さい	電波状態の良い場所へ移動してください。

待受画面

IPマイクの主な操作は「待受画面」から行います。



番号	項目	説明
①	電波状態	電波の強さを表示
②	通信方式	AXGP / FDD-LTE の場合は 4G、WCDMA / HSPA+ の場合は 3G を表示
③	受信メッセージ	メッセージ受信の通知、未読メッセージ数を表示
④	GPS	GPS 受信中 受信していない場合は非表示
⑤	待受表示	待受設定（→ P.30）で設定された内容（最終通話 / 発信履歴 / 着信履歴 / デフォルト）を表示
⑥	状態表示	状態設定（→ P.36）で設定した状態（移動中 / 到着 / 荷降りし中 / 積荷中 / 渋滞 / 回送 / 貸切 / 休憩 / 帰社 / 登録解除など）を表示

■ 画面の操作

画面の操作はIPマイクの各ボタンを使って行います。「IPマイクの各部の名称とはたらき」(→P.26)をご参照ください。

Menuを押してメニューを表示した場合などは、Menuを上下に動かして項目を選択してから決定を押します。

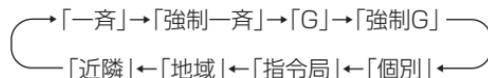
呼び出して通話する

待受画面から発信する

1 待受画面でModeを押して呼出モードを選択



Modeを押すたびに呼出モードが次の順で切り替わります。



- 「一斉」「強制一斉」「近隣」を選択した場合は、手順3(→P.29)に進みます。

2 番号を入力

- グループ、強制グループ呼出の場合は3桁の番号、個別呼出の場合は4桁の番号、指令局、地域呼出の場合は2桁の番号を入力します。



<例：グループ呼出>



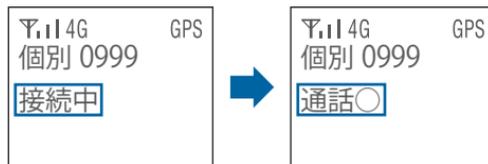
<例：個別呼出>

- 呼出モードによっては番号を入力しないものもあります。

呼出モード	画面表示	番号の桁数 (利用範囲)
一斉呼出	一斉	—
強制一斉呼出	強制一斉	—
グループ呼出	G	3桁(001～200)
強制グループ呼出	強制G	3桁(001～200)
個別呼出	個別	4桁 (0001～9999)
指令局呼出	指令局	2桁(01～15)
地域呼出	地域	2桁(01～08)
近隣呼出 (移動局のみ)	近隣	—

3 プレストークスイッチを押す

画面に「接続中」→「通話○」と表示されると接続が完了して通話ができるようになります。プレトークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。



4 終話するときは **F** または **Mode**

待受画面へ戻ります。

📞 お知らせ

- 呼出モードで「個別」を選択して番号を入力した場合、番号帳に登録されている番号を入力すると名称も表示されます。
- 発信中に **F** または **Mode** を押すと、発信をキャンセルして発信前の画面に戻ります。
- グループ、強制グループ呼出では999まで、地域呼出では99まで入力、発信できますが、利用範囲外の番号をご利用いただくことはできません。
- バージョンが異なるIP無線機間では、正常に接続できない場合があります。IP無線機とIPマイクのソフトウェアは必ず最新バージョンでご利用ください。
- IP無線機の呼出モードスイッチの利用が可能な場合、画面には「モードスイッチ利用」と表示されます。なお、メッセージ受信機能、非常送信機能は利用可能です。

- 各呼出モード(一斉、強制一斉、グループ、強制グループ、個別、指令局、地域、近隣)の「RBT」が設定されている場合は、呼出対象はRBT呼出対象となります。
- IP無線機が属していないグループへの発信を規制することができます。ただし、地域、近隣呼出や、IPマイクでグループ情報を一度も取得していない場合は発信規制されません。また、IP無線機位置情報サービス画面でグループ情報を変更した場合、IPマイクでグループ情報を取得しなければ、最新グループ情報での発信規制はされません。発信できない場合は、画面に「利用できない呼出モードです」と表示されます。

■ 呼出モード選択時の初期値 (待受設定)

呼出モード選択時の初期値は待受設定と連動して表示されます。

待受設定	モード選択時の初期値
最終通話	最後に通話した相手の呼出モードと番号
発信履歴	発信履歴の最新の呼出モードと番号
着信履歴	着信履歴の最新の呼出モードと番号
デフォルト	デフォルト相手先設定で指定した呼出モードと番号

相手局番号が表示されている状態で、プレストークスイッチを押して発信できます。

相手局番号が表示されている状態でテンキーを押すと、呼出モードはそのまま新しい番号を設定することができます。

[Mode]を押すと次の呼出モードに移行できます。

■ 呼出に失敗した場合

呼出に失敗すると、画面に「通話×」と失敗理由が表示されます。

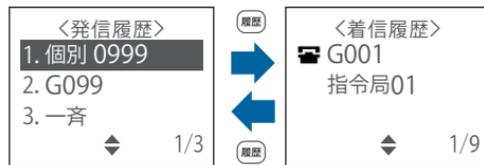
[F]または**[戻る]**を押すと、待受画面へ戻ります。

画面表示	失敗理由
接続失敗	接続がタイムアウト
呼出先通話中	相手先が通話中
呼出先誤り	存在しないG(グループ)の呼出/ 自分への呼出

通話履歴から呼び出して通話する

IPマイクに保存される発信履歴／着信履歴はそれぞれ最大9件です。

1 待受画面で履歴



<発信履歴一覧画面>

<着信履歴画面>

発信履歴一覧画面が表示されます。もう一度**[履歴]**を押すと、着信履歴画面が表示されます。

[電話]：着信時に通話した履歴

[電話]：着信時に通話しなかった履歴

- 番号帳に登録されている場合は名称が表示されます。

2 で発信する履歴を選択→プレストークスイッチを押す

発信画面が表示され、呼び出して通話できます。

お知らせ

- 同じ移動局へ発信／着信した履歴は、上書きして表示されま
す。
- 発信に失敗した場合も発信履歴に表示されます。
- 設定された呼出モード以外を履歴から選択した場合は、画面
に「利用できない呼出モードです」と表示されます。

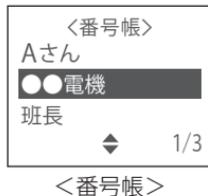
番号帳から呼び出して通話する

設定された情報に基づき、最大50件まで番号帳の名称とし
て画面に表示できます。

番号帳から相手を呼び出して発信することができます。

1 待受画面で

番号帳が表示されます。



2 で発信先を選択→プレストークスイッチを押す

発信画面が表示され、呼び出して通話できます。

ショートカットから呼び出して通話する

■ ショートカットの登録

発信履歴や番号帳画面などから相手を選んでショートカッ
トに登録すると、待受画面から簡単に呼び出すことができま
す。ショートカットは最大9件まで登録できます。
相手は、以下の画面から選択できます。

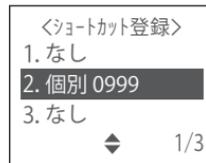
- 呼出モードの切り替えで相手を設定 (→P.29) した画面
- 発信履歴一覧画面
- 着信履歴画面
- 番号帳画面

1 相手を選択→を3秒以上長押し

ショートカット登録画面が表示されます。

2 で登録先を選択→

選択した場所にショートカットが登録されます。



ショートカットからの発信

1 待受画面で^{短縮}

ショートカット送信画面が表示されます。

2 で送信先を選択→プレストークスイッチを押す

発信画面が表示され、呼び出して通話できます。

ショートカットの削除

1 待受画面で^{短縮}

ショートカット送信画面が表示されます。

2 で送信先を選択→を3秒以上長押し

選択したショートカットが削除されます。

！ ご注意

- 削除の際に確認メッセージは表示されませんのでご注意ください。
- 一度削除されたショートカットは元に戻すことはできません。

着信に应答して通話する

1 着信

IP無線機の着信LEDが点滅し、点灯に変わるとIPマイクに着信画面が表示されます。



<個別呼出の着信画面>



<個別呼出以外の着信画面>

2 プレストークスイッチを押しながら話す

プレストークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。

3 発信者が終話操作をすると通話終了

- IP無線機の設定内容によっては、着信側で  または  を押して通話を終了することができます。

📞 お知らせ

- 発信元番号が番号帳に登録されている場合は名称が表示されます。
- 個別呼出以外（一斉、強制一斉、グループ、強制グループ、地域、近隣呼出）の着信画面では、着信画面の最下行に呼出を行った発信者の番号が表示され、着信側で応答操作を行うと、応答した通話者を表示します。
- 着信時に発信元が特定できなかった場合、発信元番号が表示されないことがあります。
- 音声着信が可能な状態で、IPマイク操作中に音声着信があると、操作は中断され着信状態になります。

着信を個別通話に切り替える

IP無線機の設定内容によっては、個別呼出以外の着信に回答してから、発信者との個別通話に切り替えることができます。

1 通話中画面で **[F]** または **[Mode]**、あるいは **プレス トークスイッチ** を押す

発信者との個別通話に切り替わります。

通話から抜ける

IP無線機の設定内容によっては、一斉、強制一斉、グループ、強制グループ通話を行っているときに通話から抜ける（離脱）ことができます。

1 通話中画面で **[Menu]**

待受画面へ戻ります。

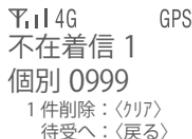
！ ご注意

- この機能は、地域、近隣呼出には対応していません。
- 発信者が通話離脱した場合、「無通話タイムアウト」または「連続通話タイムアウト」でのみ終話できます。

不在着信を確認する

IP無線機の設定内容によっては、指令局／移動局からの個別呼出に対して通話を開始しないと、不在着信通知が表示されます。

最後の不在着信から10分間は「ピーッピーッ…」という通知音が鳴り、IP無線機の状態LEDが白点滅します。通知音は、IPマイクで何らかの操作をすると停止できます。



〒114G GPS
不在着信 1
個別 0999
1件削除：〈クリア〉
待受へ：〈戻る〉

お知らせ

- 着信時に発信元が特定できなかった場合は、発信元番号が空白で表示されることがあります。

非常送信機能（RED ALERT）を利用する

非常時、IP無線機位置情報サービスに非常状態を通知することができます。通知された非常状態はWeb画面上で確認できます。

- 非常送信機能（RED ALERT）を利用するには、別途オプションサービスへの加入が必要です。

RED ALERTを起動する

1 非常スイッチを3秒以上長押し

画面上に「★」が表示され、非常状態を通知します。



〒114G ★ GPS
個別 0999

2. 到着

お知らせ

- 非常状態ではなくなった場合は、必ず解除操作を行ってください。

RED ALERTを解除する

1 非常スイッチを3秒以上長押し

RED ALERTが解除されます。

- 本装置の電源を切っても解除できます。

受信メッセージを表示する

IPマイクでは、メッセージの送信可能な端末またはIP無線機位置情報サービスから送られたメッセージを受信して表示できます。メッセージは最大9件まで保存されます。10件目を受信すると、未開封のものも含め古いものから削除されます。

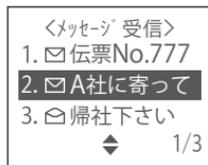
メッセージは1件につき最大全角162文字（半角324文字）まで表示できます。

1 待受画面で☎

受信メッセージ一覧画面が表示されます。

☑: 未開封メッセージ

☑: 開封済みメッセージ



2 ☑でメッセージを選択→決定

メッセージの内容が表示されます。

お知らせ

- 受信したメッセージは本装置の電源を切っても保持されません。
- 圏外の場合にいるときや本装置の電源を切っているときは、メッセージを受信できません。
- 本装置ではメッセージの送信は行えません。

受信メッセージの削除

1 待受画面で☎

受信メッセージ一覧画面が表示されます。

2 ☑でメッセージを選択→**削除**を3秒以上長押し

選択したメッセージが削除されます。メッセージが削除されると下位のメッセージが繰り上げ表示されます。

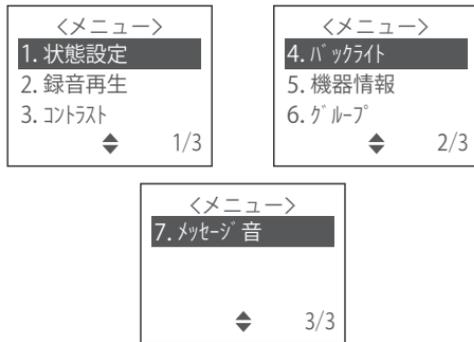
！ ご注意

- 削除の際に確認メッセージは表示されませんのでご注意ください。
- 一度削除された受信メッセージは元に戻すことはできません。

IPマイクのメニューを操作する

1 待受画面で Menu

メニュー画面が表示されます。



2 で項目を選択 → 決定

各項目の設定画面が表示されます。

- テンキーで「1」～「7」を押しても項目を選択できます。

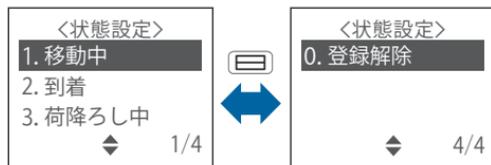
状態設定

使用している移動局側の状態をIP無線機位置情報サービスに通知することができます。IPマイクの待受画面にも表示されます。

1 待受画面で Menu → で [1.状態設定] を選択

→  決定

状態設定項目が表示されます。



2 で項目を選択 → 決定

「0.登録解除」を選択すると、表示されていた状態が解除されて消えます。

録音再生

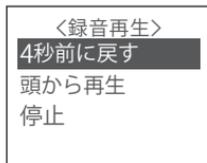
IPマイクでの通話時に録音された相手の音声を再生します。通話中は相手の声が常に録音されています。

- 音声は4秒間ごとに48回、最大192秒間録音されます。192秒を超える場合は古いものから消去されます。
- 録音された音声は、本装置の電源を切ると消去されます。

1 待受画面で → で【2.録音再生】を選択

→ 

再生方法が表示されます。



2 で項目を選択 →

選択した動作が行われます。

項目	説明
4秒前に戻す	録音された最新の音声を4秒間再生再生中に再度「4秒前に戻す」を選択すると、さらに4秒前の音声を再生（最大で48回：192秒）
頭から再生	録音されている一番古い音声から再生
停止	再生を停止

お知らせ

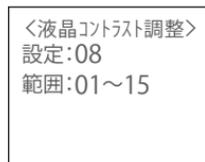
- IP無線機の呼出モードスイッチを使用する場合は、呼出モードスイッチを「13」に合わせ、**[F]**または**[Mode]**を押すと、スピーカマイク接続時と同様に録音された音声を再生できます。

液晶コントラスト調整

IPマイクの液晶画面のコントラストを調整します。

1 待受画面で → で【3.コントラスト】を選択 →

液晶コントラストの設定値が表示されます。



2 で「設定」の数値を選択 →

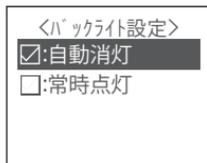
設定値が保存され、待受画面へ戻ります。

バックライト

液晶画面のバックライトの点灯モードを設定します。
初期値は「自動消灯」です。

- 1 待受画面で **Menu** →  で **【4.バックライト】** を
選択 → **決定**

バックライト設定項目が表示されます。



- 2  で項目を選択 → **決定**

設定が保存され、待受画面へ戻ります。

項目	説明
自動消灯	最後の操作から 30 秒後に自動的に消灯
常時点灯	常時点灯

機器情報

端末本体 (USBスティック)、IP無線機、IPマイクの各種情報
を表示します。

- 1 待受画面で **Menu** →  で **【5.機器情報】** を選択
→ **決定**

機器情報項目が表示されます。



- 2  で項目を選択 → **決定**

選択した機器情報が表示されます。

項目	説明
端末本体	端末本体 (USB スティック) の情報を表示 情報取得中は、画面右下に「取得中」を点滅表示
IP 無線機	IP 無線機のソフトウェアのバージョンなどを表示
IP マイク	IP マイクのソフトウェアのバージョンを表示

グループ

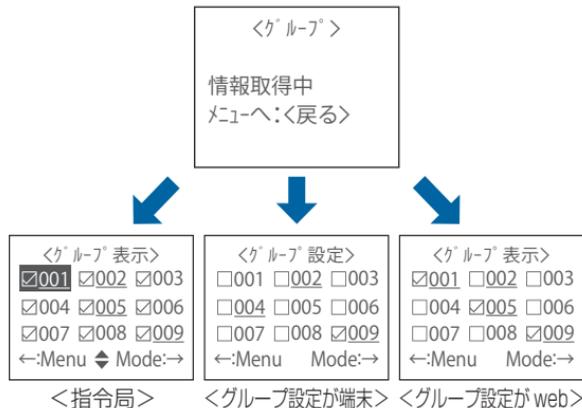
■ 所属するグループを確認する

グループ情報を取得して表示します。「指令局」の場合はすべてのグループに、移動局で「グループ設定が端末」の場合はIPマイクで設定したグループに、「グループ設定がweb」の場合はIP無線機位置情報サービスで指定したグループに✓がつきます。

1 待受画面で **Menu** → で **[6.グループ]** を選択

→ **決定**

グループの一覧が表示されます。



: 自分が所属していないグループ

✓ : 自分が所属しているグループ

000 : 誰も所属していないグループ

000 : 誰かが所属しているグループ

！ ご注意

- ご利用の環境によっては、正しいグループ情報が取得できない場合や、グループ情報取得が完了しない場合があります。
- 指令局の場合は、グループを変更することはできません。

■ 所属するグループ番号を変える

「グループ設定が端末」の場合は、所属するグループを変更することができます。

- グループ設定をIPマイクで行うには、お申し込み時、グループ管理に「端末」を設定されている必要があります。

1 待受画面で → で【6.グループ】を選択

→ 

グループの一覧が表示されます。

-  を押すと、グループ番号の続きを「200」まで若い番号順に表示します。
-  を押すと、グループ番号の「200」から逆番号順に表示します。
- テンキーでグループ番号を入力して直接表示することができます。

2 で所属したいグループを選択 →

変更されると「成功」と表示されます。

- 所属できるグループは1つです。変更前に複数のグループに設定されていた場合は、変更したグループ番号だけになり、その他のグループ設定は解除されます。
- IPマイクの設定内容によっては、登録したグループが通話中の場合、登録が成功したあとに通話に割り込むことができます。

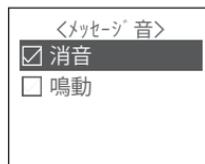
メッセージ音

メッセージを受信したときに音でお知らせするかどうかを設定します。

初期値は「鳴動」です。

1 待受画面で → で【7.メッセージ音】を選択 →

メッセージ音の設定項目が表示されます。



2 で項目を選択 →

設定が保存され、待受画面へ戻ります。

お知らせ

- 通話中は、メッセージ受信音は鳴動しません。終話して2秒後に鳴動します。
- 不在着信鳴動中は、メッセージ音は鳴動しません。

5 困ったときは

トラブルシューティング	42
仕様	43
保証とアフターサービス.....	45
お問い合わせ先.....	46
索引	47

トラブルシューティング

故障とお考えになる前に

気になる症状の内容を確認しても症状が改善されない場合は、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

電源が入らない

- IP無線機の電源スイッチを押していますか (→P.15)。
- ACCケーブルは車両のACC端子に接続されていますか (→P.6)。
- 電源ケーブルは接続されていますか (→P.6)。
- 車両のバッテリー電圧が異常 (10.8V以下または29.04V以上) ではありませんか。バッテリー交換を行ってください。

発信／着信しない

- 電波の弱い場所や圏外の場所にいませんか。電波状況がよいところに移動してください。
- 正しい呼出モードに設定されていますか (→P.16)。
- 端末本体 (USBスティック) のUSBケーブルが外れていませんか (→P.5)。
- スピーカマイクまたはIPマイクのカールコードが外れていませんか (→P.4)。

こちらの声が相手に聞こえない (音声を発信できない) / 相手の声が聞こえない

- スピーカマイクまたはIPマイクのカールコードが外れていませんか (→P.4)。
- プレストークスイッチを押し続けていますか。プレストークスイッチを押し続けている間、音声が発信されます。
- プレストークスイッチを押して、一呼吸おいてから話し始めてください。
- 音量は適切ですか (→P.8)。

メッセージを受信できない

- 電波の弱い場所や圏外の場所にいませんか。電波状況がよいところに移動してください。

GPSを受信できない

- 電波の弱い場所や屋内、圏外の場所にいませんか。電波状況がよく見晴らしのよいところに移動してください。

仕様

環境仕様

動作温度	-10℃~50℃
保管温度	-20℃~60℃
湿度	30%~90%RH 無結露
電源電圧	•DC12V車 DC10.8V~15.18V •DC24V車 DC23.76V~29.04V
衝撃	ピーク加速度 150m/s ² 11ms
振動	加速度4.5G 5~200Hz 掃引速度10分

IP無線機

形状	ユニットタイプ (車載取付可)
外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約115mm×約25mm×約135mm
質量	約700g以下
色	黒
データ通信方式	Packet UL: WCDMA/HSUPA/ AXGP/FDD-LTE DL: WCDMA/HSDPA/ AXGP/FDD-LTE
音声符号化方式	G.729 Annex A
通信形態	プレストーク方式
外部マイクインタフェース	600Ω -44dBm±3dB
外部スピーカ定格出力	8Ω 定格1W 最大2W
AVMインタフェース	1ch
GPSインタフェース	アンテナ外付け 50Ω
USBインタフェース	端末本体 (USBスティック) 接続用 USB2.0準拠
電源電圧	+12.0V-10% ~ DC13.8V+10% +26.4V±10%
消費電流	音声着信時1A以下 待機時0.5A以下
関連規格	VCCI class A

■ 端末本体 (USBスティック)

外形寸法 (幅×高さ×奥行)	約33mm×約10mm×約89mm
質量	約30g
インターフェース	USB2.0
消費電流	約550mA以下
周波数範囲	<ul style="list-style-type: none">●4G LTE 上り:880~915MHz、1920~1980MHz 下り:925~960MHz、2110~2170MHz●4G (AXGP) 上り:2545~2595MHz 下り:2545~2595MHz●3G (WCDMA/HSPA+) 上り:880~915MHz、1920~1980MHz 下り:925~960MHz、2110~2170MHz

通信方式	LTE : Cat. 3 (受信最大 100Mbps、送信最大50Mbps) AXGP : Cat.3 (受信最大76Mbps、送信最大10Mbps) WCDMA : Cat. 14 HSPA+ (受信最大 21Mbps) / Cat. 10 HSDPA (受信最大 14.4Mbps) / Cat. 6 HSUPA (送信最大 5.76Mbps) ※最大通信速度は技術規格上の最大値であり、実際の通信速度を表すものではありません。また、通信速度は通信環境やネットワークの混雑状況によって低下する場合があります。
------	---

保証とアフターサービス

保証について

本装置をお買い上げいただいた場合は、保証書が付いております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。
- 修理を依頼される場合は、お買い上げ販売代理店またはお問い合わせ先へご相談ください。その際できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。
- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

アフターサービスについて

- 本装置の故障、誤動作または不具合などにより、通信などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合があります。なお、故障または修理の際に本装置に登録されているデータや設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本装置を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は、修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- アフターサービスについてご不明な点は、お買い上げ販売代理店またはお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点がございましたら、お買い上げの販売代理店までご連絡ください。

盗難に遭った場合

本装置が盗難に遭った場合は、必ず緊急利用停止の手続きを行ってください。

■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（無料）

連絡していただきたい項目

- ①商品名（601SJ 標準セット）
- ②お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名
- ③ご連絡先電話番号

ご利用を停止される場合

本装置のご利用を停止される場合は、ご利用停止の手続きを行ってください。

■ ソフトバンク・ビジネスコールセンター

0800-919-3909（無料）

連絡していただきたい項目

- ①商品名（601SJ 標準セット）
- ②お客様会社名・事業所名および機関名、所在地、ご担当者氏名
- ③ご連絡先電話番号
- ④ご利用停止予定日

索引

英数字

IPマイク	26
機器情報	38
グループ	39
コントラスト	37
受信メッセージの表示	35
ショートカット	31
状態設定	36
着信応答	32
通話	28
通話履歴	30
バックライト	38
番号帳	31
待受画面	27
メッセージ音	40
メニュー	36
録音再生	37
IP無線機	8
状態表示 (LED)	9
通知音	18
RED ALERT	34
USIMカード	11
取り付け	12
取り外し	12

あ

アフターサービス	45
移動局	14
お問い合わせ先	46

さ

仕様	43
IP無線機	43
環境仕様	43
端末本体 (USBスティック)	44
指令局	14
スピーカマイク	22
着信応答	23
通話	23
録音再生	24
接続	3

た

端末本体 (USBスティック)	10
状態表示 (LED)	10
電源	15
入れる	15
切る	15
トラブルシューティング	42

は

非常送信機能	34
保証	45

や

呼出モード	16
呼出モードスイッチ	8

601SJ 標準セット 取扱説明書

2017年 3月 第1版発行

ソフトバンク株式会社

* ご不明な点はお求めになられた
販売代理店にご相談ください。

機種名 601SJ

製造元 西菱電機株式会社

601SJ User Guide 取扱説明書



携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる通信端末・付属品類をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した通信端末・付属品類はリサイクルするためご返却できません。

※プライバシー保護の為、端末に記憶されているお客様の情報(アドレス帳・通話履歴・メール等)は、事前に消去願います。

